

マドラス市でのホームステイはわたしを大きく成長させてくれました。自分の家族ではない人と生活を共にすることは不安はもちろん、言語が違うとなると、少しの解釈の違いから相手を嫌な気持ちにさせたり、違う意味でとらえてしまうことがあるのではないかという気持ちがありました。しかし、このホームステイを通して、大事なのは言語ではなく、伝える気持ちだと思いました。自分の言いたいことを英語に出来なくても、表情やジェスチャーで相手に伝えようとすれば相手はわかってくれます。実際ホームステイの中で困ったことがあった時、完璧な英語で伝えることはできませんでした。しかし、ホストファミリーが私の話を親身になって聞いてくれ、乗り越えることができました。



ホームステイを始める前までは不安と心配でいっぱいだったわたしですが、ホームステイが終わる頃になると「帰りたくない」「ずっとこの家にいたい」と思っていました。積極的に英語を使ってコミュニケーションをとるうちに、もっと英語を喋りたい、自分の気持ちを伝えたいという気持ちが強くなりました。



メンバーの中で1人だけ2年生で最初は本当にこのメンバーとうまくやっていけるか心配でした。ですが、このプログラムを計画してくださった村山さん、引率してくださった蓮見さん、他にも関わってくださったすべての方々、そして何より、かけがえのないメンバーのおかげで、毎日が楽しく、貴重な体験をいくつもさせていただきました。本当にありがとうございました。そして、このプログラムに参加させてくれた両親にも感謝の気持ちを伝えたいです。

将来はもっと英語力を身につけてもう一度アメリカに行きたい。この気持ちを忘れず、この留学の経験を活かして、これからも日々頑張っていきたいと思います。